

国民大運動広島県実行委員会の自治体キャラバンで、 福山市、府中市に訪問しました。



11月8日(金)国民大運動広島県実行委員会の秋の自治体キャラバンが行われ、全教広島(中本)福山地区労(中藤)、全教福山(北川)、全医労(沖永)、社会福祉法人備後の里(河村、佐藤)、新婦人の会福山(永島)、福山母親連絡会(尾前)、福山医療生協(竹中、中刎)、福山市社保協(花岡)が参加しました。福山市(写真左)と福山市議会議長事務局(写真上)に対し、①学校給食費の無償化と、食材や調理施設への公的補助を求める ②安心して生活できる公的年

金を求める ③訪問介護基本報酬引き下げ分の補填と2025年度医療・介護報酬臨時改定の実施、すべてのケア労働者の大幅な処遇改善等のための予算措置を求める ④加齢性難聴者への補聴器購入に対する助成について ⑤最低賃金全国一律制度へ向けた法改正を求める ⑥国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める ⑦児童・生徒の健康と学習する権利を守るため学校施設のトイレに生理用品の設置を求める、7項目の陳情書と国に対する意見書案を提示しました。

福山市からは担当課長が対応し、給食に関しては地産地消に心掛け、給食センターの大規模改修には国からの財源で行う。老齢基礎年金については厚労省が見直しを検討している。介護報酬改定は国の責任、全国市長会を通じて要望している。加齢性難聴者への助成は10月から開始している、現状は80名が申請をしている。国保財政に国の繰り入れを増やす件は、全国市長会を通じて要望している。生理用品の設置については、保健室での管理とトイレ配置に分かれている。各学校の判断で対応しているとの回答を受けました。福山市議会議長は不在のため、事務局に要望書を手渡し、趣旨を伝えていただくこととしました。府中市には要望書を手渡し、懇談を行いました。(写真下)2022年10月4日の中国新聞に紹介された、府中市教育委員会が全小中学校のトイレに無償生理用品を設置については、今現在も続けているとの回答がありました。